

第70回日本公衆衛生学会総会（秋田県・秋田市）のまとめ

1 学会長・副学会長・顧問

名誉学会長	佐竹 敬久	秋田県知事
名誉顧問	穂積 志	秋田市市長
学会長	本橋 豊	秋田大学大学院教授
学会長代理	市川 講二	秋田県健康福祉部長
副学会長	小山田 雍	秋田県医師会長
	青木 満	秋田県生活環境部長
	伊藤 智	秋田市福祉保健部長
顧問	米田 進	秋田県教育委員会教育 長
	吉村 昇	秋田大学長

2 開催日

平成23年10月19日（水）～21日（金）

3 開催地

秋田県秋田市

4 会場

秋田県民会館（秋田市千秋明徳町2-52）
秋田アトリオン（秋田市中通2-3-8）
秋田キャッスルホテル（秋田市中通1-3-5）
その他

5 参加者数

有料入場者数 3,009人
(うち事前登録者2,067人)

No.	都道府県	合計	%
1	東京都	466	15.5
2	大阪府	188	6.2
3	神奈川県	121	4.0
4	秋田県	119	4.0
5	埼玉県	116	3.9
6	愛知県	102	3.4
7	茨城県	85	2.8
8	北海道	74	2.5
9	千葉県	74	2.5
10	兵庫県	74	2.5
11	福岡県	70	2.3
12	京都府	68	2.3
13	青森県	58	1.9
14	宮城県	57	1.9
15	熊本県	55	1.8
16	岡山県	51	1.7
17	新潟県	50	1.7
18	福島県	48	1.6
19	栃木県	46	1.5
20	その他	672	22.3
21	不明	415	13.8
合計		3,009	

6 総会・特別行事等

<第1日目 2011年10月19日(水)>

特別講演1

10:15~11:15 A会場(秋田県民会館)

わが国の教育をめぐる課題と展望

演者: 銭谷 眞美(東京国立博物館長)

座長: 井上 裕司(秋田大学大学院医学系研究科)

学会長講演

11:20~12:00 A会場

公共性の地平から見た公衆衛生の将来展望

演者: 本橋 豊(秋田大学大学院医学系研究科)

座長: 原田 規章(山口大学大学院医学系研究科)

総会

13:40~14:30 A会場

特別講演2

14:40~15:40 A会場

公共性への新たな問いかけ

演者: 佐々木 毅(学習院大学教授)

座長: 本橋 豊(秋田大学大学院医学系研究科)

教育講演1

14:40~15:30 B会場(アトリオン音楽ホール)

低線量放射線環境下で生活する~安心と安全の狭間

演者: 福島 哲仁(福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座)

座長: 中村 裕之(金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学)

教育講演2

14:40~15:30 C会場(秋田キャッスルホテル)

脳卒中予防の問題点と解決策

演者: 鈴木 一夫(秋田県立脳血管研究センター疫学研究部)

座長: 中山 健夫(京都大学大学院医学系研究科)

教育講演3

14:40~15:30 D会場(秋田キャッスルホテル)

がんの予防について

演者: 中路 重之(弘前大学大学院医学研究科社会医学講座)

座長: 岸本 拓治(鳥取大学医学部環境予防医学分野)

メインシンポジウム

15:50~17:50 A会場

公共性の地平からみた公衆衛生学の将来展望

座長: 車谷 典男(奈良県立医科大学医学部)

松田 晋哉(産業医科大学)

社会保障制度の理念としての連帯と公共性

演者: 松田 晋哉(産業医科大学)

社会格差による健康問題解決への新しい展望

演者: 橋本 英樹(東京大学大学院医学系研究科)

社会保障と構造改革

演者: 濃沼 信夫(東北大学大学院医学系研究科)

健康格差を導く構造と健康の社会的決定要因への対処

演者: 福田 吉治(山口大学医学部)

日本学術会議パブリックヘルス科学分科会・日本公衆衛生学会 合同公開シンポジウム

15:50~17:40 B会場

わが国のパブリックヘルス領域の緊急課題の解決に向けて

座長: 岸 玲子(北海道大学環境健康科学研究教育センター)

實成 文彦(山陽学園大学)

日本学術会議提言「健康食品に関する法制度整備の必要性について

—パブリックヘルスの立場から—と今後のアクション

演者: 大濱 宏文(日本健康食品規格協会)

病院勤務医師の長時間過重労働の改善にむけて

演者: 中村 桂子(東京医科歯科大学大学院)

わが国の健康の社会格差の現状理解とその改善に向けて

演者: 川上 憲人(東京大学大学院医学研究科)

わが国の公衆衛生向上に向けた公衆衛生大学院の役割と今後のアクション

演者: 小林 廉毅(東京大学大学院医学研究科)

ランチョンセミナー1

12:20~13:20 C会場

ワクチンの現状と将来展望

座長: 萱場 広之(秋田大学大学院医学系研究科病態制御医学系感染・免疫アレルギー病態検査学講座)

演者: 堤 裕幸(札幌医科大学小児科)

共催: ファイザー株式会社

ランチョンセミナー2

12:20~13:20 D会場

子宮頸がん検診と予防ワクチンの最近の話題

座長:寺田 幸弘(秋田大学大学院医学系研究科
産婦人科学講座)演者:小澤 信義(仙台医療センター産婦人科部
長)

共催:グラクソ・スミスクライン株式会社

歓迎 なまはげ郷神楽

17:50~18:20 A会場

<第2日目 2011年10月20日(木)>

特別鼎談

10:10~11:00 A会場

被災地の公衆衛生を語る—課題解決へ向けて

演者:坂田 清美(岩手医科大学医学部)

辻 一郎(東北大学大学院医学研究科)

(司会) 安村 誠司(福島県立医科大学医学部公衆
衛生学講座)

教育講演4

9:00~9:50 C会場

循環器疾患の予防戦略を考える

演者:坂田 清美(岩手医科大学)

座長:中村 好一(自治医科大学公衆衛生学教室)

教育講演5

9:00~9:50 D会場

原爆被爆者の疫学追跡調査

演者:小笹晃太郎(財団法人放射線影響研究所・
広島疫学部)座長:中村 和利(新潟大学大学院医歯学総合研
究科環境予防医学分野)

教育講演6

11:10~12:00 A会場

放射線と発がん:リスク評価・管理と公衆衛生

演者:津金昌一郎(国立がん研究センター予防研
究部)

座長:村田 勝敬(秋田大学大学院医学系研究科)

教育講演7

13:40~14:30 C会場

震災後の原子力発電所における産業医活動

演者:谷川 武(愛媛大学大学院医学系研究科
公衆衛生・健康医学)

座長:小泉 昭夫(京都大学大学院医学系研究科

環境衛生学)

シンポジウム1

10:10~12:00 B会場

生活習慣病予防—特定健診・特定保健指導の今後を
見据えて—

座長:磯 博康(大阪大学公衆衛生学)

岡村 智教(慶應義塾大学公衆衛生学)

未解決の重要課題:未受診者対策と市民啓
発

演者:岡村 智教(慶應義塾大学公衆衛生学)

第三次国民健康づくり対策(健康日本21)

における動向と今後の課題

演者:三田 晃史(厚生労働省健康局総務課生活
習慣病対策室)広域自治体における生活習慣病対策の取り
組みと課題

演者:石塚 共實(秋田県健康福祉部健康推進課)

秋田県井川町における生活習慣病対策と特
定健診・特定保健指導の現状・課題演者:安田 望(秋田県井川町町民課健康福祉
班)

シンポジウム2

13:40~15:30 A会場

自殺対策の効果評価と展望

座長:川上 憲人(東京大学大学院医学系研究科)

宇田 英典(鹿児島県始良・伊佐地域振興
局保健福祉環境部)こころの健康の社会的決定要因と自殺対策
—J-AGES/ベンチマークをもとに

演者:近藤 克則(日本福祉大学)

高齢者の社会参加・社会貢献による地域の
ソーシャルキャピタルの醸成演者:藤原 佳典(東京都健康長寿医療センター
研究所)

地域づくりとしての自殺予防対策

演者:直嶋 京子(八峰町福祉保健課健康推進係)

地方自治体の自殺対策の効果評価の検討

演者:金子 善博(秋田大学大学院医学系研究科)

シンポジウム3

13:40~15:30 B会場

気になる子どもと家族のサポート—発達障害児支援
システムと連携のあり方—

座長:山縣然太郎(山梨大学大学院)

山崎 嘉久(あいち小児保健医療総合セン
ター)

地域における発達障害支援と健やか親子21
 演者：山縣然太朗（山梨大学大学院）

乳幼児健診からつなげる支援～子育て支援
 の必要性の判定を用いて

演者：山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合セン
 ター）

乳幼児健診を利用した発達障害の早期発見
 —10%の支援ニーズに対応するための戦略
 —

演者：本田 秀夫（山梨県こころの発達総合支援
 センター）

地域と保育園・幼稚園、学校との連携によ
 る気になる子どもと家族のサポート

演者：荒木田美香子（国際医療福祉大学大学院）

シンポジウム 4

15：50～17：40 A 会場

地域で介護予防をどう進めるか、ポピュレーション
 戦略とハイリスク戦略

座長：新開 省二（東京都健康長寿医療センター
 研究所）

安田 誠史（高知大学医学部）

介護予防：これまでの成果と反省、そして今後の展
 望

演者：辻 一郎（東北大学大学院医学研究科）
 美唄市の介護予防と貯筋体操自主グループ
 の7年間の歩み

演者：横山 香理（美唄市役所高齢福祉課地域包
 括支援センター）

世田谷区の介護予防事業～これまでとこれ
 から～

演者：河島 貴子（世田谷区地域福祉部介護予
 防・地域支援課）

但馬地域の介護予防の戦略—「健康づくり
 は地域づくり」のすすめ—

演者：小森 昌彦（兵庫県但馬県民局但馬長寿の
 郷企画調整部地域ケア課）

公衆衛生行政研修フォーラム 1

10：10～12：00 D 会場

公衆衛生の人材育成システムづくりを考える

座長：曾根 智史（国立保健医療科学院 国際協
 力研究部）

烏帽子田彰（広島大学大学院医歯薬学総合
 研究科）

公衆衛生人材育成の課題

演者：曾根 智史（国立保健医療科学院 国際協
 力研究部）

保健所長会における公衆衛生医師の確保・
 育成に関する取り組み

演者：宇田 英典（鹿児島県始良・伊佐地域振興
 局保健福祉環境部）

保健師人材育成の現状—保健師活動の基盤
 に関する基礎調査結果から—

演者：村中 峯子（日本看護協会）
 産業保健分野における人材育成—産業医の
 育成を中心に—

演者：森 晃爾（産業医科大学産業医実務研修
 センター）

公衆衛生行政研修フォーラム 2

15：50～17：40 B 会場

大災害における保健師による公衆衛生活動

座長：平野かよ子（東北大学大学院医学系研究科）

松井 通子（千葉県立舞鶴看護専門学校）

被災した石巻市（本庁地区）における保健
 師の活動

演者：伊藤 慶子（宮城県石巻市健康部健康推進
 課）

震災直後の保健・医療活動 ～救出される
 までの4日間～

演者：粕谷 祐子（宮城県石巻保健所）
 災害時における保健所保健師による市町村
 支援 県と市をつなぐ保健師の活動

演者：只野 里子（宮城県気仙沼保健所）
 南三陸町への公衆衛生医師派遣を通して学
 んだ公衆衛生の原点と課題

演者：田上 豊資（高知県中央東福祉保健所）
 市町村保健師に求められるコーディネート
 機能

演者：岩崎 賢一（朝日新聞科学医療グループ）

地方衛生研究所研修フォーラム

10：10～12：00 C 会場

多剤耐性菌の院内感染事例への行政の関与をどうす
 るか？

座長：調 恒明（山口県環境保健センター）

佐々木昌弘（広島県健康福祉局）

院内感染に関する保健所、衛生研究所およ
 び専門医の連携

演者：緒方 剛（茨城県筑西保健所）

医療現場で考える多剤耐性菌対策—多剤耐
 性アシネトバクター・バウマニへの対応を
 中心に—

演者：森澤 雄司（自治医大感染制御部・感染症
 科）

多剤耐性菌の院内感染事例への行政の関与
—群馬県の院内感染対策支援システム—

演者：小澤 邦寿（群馬県衛生環境研究所）

日本公衆衛生学会 専門能力認定委員会フォーラム
14：40～16：20 C会場

認定専門家（Public Health Specialist）制度の発展
と学会の役割

座長：澁谷いずみ（愛知県半田保健所）

今中 雄一（京都大学大学院医学研究科）

英国の公衆衛生専門家制度—専門家生涯学
習制度を中心に—

演者：曾根 智史（国立保健医療科学院国際協力
研究部）

公衆衛生専門家養成に対する大学の役割

演者：浜島 信之（名古屋大学大学院医学系研究
科）

地域における専門職教育—全国保健所長会
及び信州公衆衛生学会の取り組み—

演者：佐々木隆一郎（長野県飯田保健所）

公衆衛生専門家としての保健師，その専門
能力の育成について

演者：岡本 玲子（岡山大学大学院保健学研究科）

奨励賞受賞講演 1

13：40～15：40 D会場

茨城県民を対象とした大規模コホート研究の推進と
健康政策支援ツールの開発

演者：西連地利己（獨協医科大学医学部公衆衛生
学講座）

座長：武藤 孝司（獨協医科大学医学部公衆衛生
学講座）

奨励賞受賞講演 2

13：40～15：40 D会場

市町村・教育委員会と連携した悉皆的調査に基づく
地域診断とその活用に関する実践研究

演者：久保 秀一（千葉県市川健康福祉センター
（市川保健所））

座長：佐藤 眞一（千葉県衛生研究所）

奨励賞受賞講演 3

13：40～15：40 D会場

障害者および高齢者の地域生活支援における保健所
活動の実践的研究

演者：柳 尚夫（兵庫県洲本保健所）

座長：岸本 泰子（鳥根県松江保健所）

奨励賞受賞講演 4

13：40～15：40 D会場

高齢者の「閉じこもり」の環境要因の研究と地域に
おける予防に向けた実践

演者：平井 寛（岩手大学工学部社会環境工学
科）

座長：安村 誠司（福島県立医科大学医学部）

ランチョンセミナー 3

12：20～13：20 C会場

超高齢社会の医療戦略～感染症は治療から予防へ～

座長：廣田 良夫（大阪市立大学大学院医学研究
科公衆衛生学）

演者：渡辺 彰（東北大学加齢医学研究所抗感
染症薬開発研究部門）

共催：MSD 株式会社

歓迎 竿灯実演

12：20～13：20 秋田県民会館駐車場

<第3日目 2011年10月21日（金）>

教育講演 8

9：00～9：50 C会場

アルコールと健康—アルコール代謝酵素遺伝子型検
査を活用した健康増進の可能性—

演者：竹下 達也（和歌山県立医科大学医学部公
衆衛生学教室）

座長：若林 一郎（兵庫医科大学医学部）

教育講演 9 10月21日（金）

9：00～9：50 D会場

運動器の健康と介護予防

演者：青柳 潔（長崎大学大学院医歯薬学総合
研究科公衆衛生学分野）

座長：湯浅 孝男（秋田大学大学院医学系研究科
作業療法学講座）

公衆衛生行政研修フォーラム 3

10：10～12：00 A会場

ヘルスプロモーション実践方法とその効果

座長：星 旦二（首都大学東京都市環境科学研
究科）

櫻井 尚子（東京慈恵会医科大学大学院医
学研究科）

ヘルスプロモーションを推進する保健師の役割—実
践事例から—

演者：福本久美子（九州保健福祉大学看護福祉学
部看護学科）

都市部における地域保健活動—市民が推進する健康なまちづくり—

演者：櫻井 尚子（東京慈恵会医科大学大学院医学研究科）

子どものQOLとファミリーアプローチ

演者：中山 直子（慶應義塾大学看護医療学部）

建築とヘルスプロモーション 住まいとコミュニティの健康維持増進要因

演者：加藤 龍一（農協共済総合研究所医療研究センター）

地域歯科医師会でのヘルスプロモーション活動

演者：矢吹 義秀（社）東京都港区芝歯科医師会芝エビ研究会）

国際事例から見た日本のヘルスプロモーション

演者：湯浅 資之（順天堂大学医学部）

ヘルスプロモーション実践方法とその実践

指定発言者：高橋 俊彦（首都大学東京都市環境科学研究所）

保健計画の推進を通じて～ヘルスプロモーション実践のためのポイント

指定発言者：福永 一郎（高知県須崎保健所）

公衆衛生行政研修フォーラム4

10：10～12：00 C会場

グローバルヘルスと日本の公衆衛生

座長：中村 安秀（大阪大学大学院）

渡邊 洋子（東京都南多摩保健所保健対策課）

世界に広がり、世界から学ぶ母子健康手帳

演者：中村 安秀（大阪大学大学院）

グローバルヘルスの新しい潮流

演者：中谷比呂樹（WHO事務局）

都市間交流を通じて深化する地域プログラム

演者：中村 桂子（東京医科歯科大学大学院）

国際保健と地域保健にまたがる人材養成

演者：仲佐 保（国立国際医療研究センター）

日本公衆衛生学会モニタリング・レポート委員会フォーラム

10：10～12：00 D会場

公衆衛生モニタリング・レポート活動の新たな展開

—3年間の委員会活動の総括と残された課題から—

座長：原田 規章（山口大学大学院医学系研究科）

小林 章雄（愛知医科大学医学部衛生学教室）

想定を超える災害における健康危機管理のあり方～健康危機の事後対応と超過被害の防止

演者：佐甲 隆（桜木記念病院）

モニタリング・レポートの課題：東日本大震災を考える

演者：笠島 茂（三重大学医学部公衆衛生産業医学分野）

食品中放射性物質の暫定基準値

演者：香山不二雄（自治医科大学医学部薬理学講座環境毒性学部門）

社会格差による健康問題解決への展望

演者：橋本 英樹（東京大学大学院医学系研究科臨床疫学・経済学）

モニタリング・レポート活動の到達点と今後の課題

演者：川上 憲人（東京大学大学院医学研究科）

日本公衆衛生学会健康運動指導分科会シンポジウム

9：30～12：30 B会場

教育講演 メンタルヘルスと運動

演者：石井 千恵（医療法人社団清心会藤沢病院企画調査室）

座長：増田 和茂（財団法人健康・体力づくり事業財団）

シンポジウム 身体から心へ

座長：小島 光洋（財団法人宮城県成人病予防協会学術・研究開発室）

北島 正人（秋田大学教育文化学部教育実践講座）

運動指導の将来展望 精神科医の立場から

演者：井原 一成（東邦大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野）

運動指導の将来展望 健康運動指導士の立場から

演者：梅田 陽子（京都大学高等教育研究開発推進機構）

運動指導の将来展望 健康運動指導士養成の立場から

演者：萩 裕美子（東海大学体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科）

臨床心理士の立場から

演者：北島 正人（秋田大学教育文化学部教育実践講座）

運動を主体に用いたプログラムが在宅高齢者の抑うつ症状に及ぼす効果

指定発言者：北島 義典（財団法人明治安田厚生事業団新宿健診センター学

術室)

平成23年度 公衆衛生活動の遂行能力向上セミナー

13:30~17:00 秋田キャッスルホテル 千秋の間
健康危機への対応能力

危機対応のためのコミュニケーション学

講師：蛭名 玲子（グローバルヘルスコミュニケーションズ代表）

食のネットワーク活用による健康危機管理

講師：鈴木 一恵（新潟県柏崎地域振興局健康福祉部柏崎保健所地域保健課地域保健担当）

保健師活動を通じた健康危機管理

講師：中板 育美（国立保健医療科学院生涯健康研究部主任研究官）

7 一般演題

一般演題数 1,450件

分科会	分科会名	演題数
第1分科会	疫学・保健医療情報	53
第2分科会	ヘルスプロモーション	70
第3分科会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	140
第4分科会	保健行動・健康教育	70
第5分科会	親子保健・学校保健	182
第6分科会	高齢者のQOLと介護予防	182
第7分科会	高齢者の医療と福祉	84
第8分科会	地域社会と健康	65
第9分科会	難病・障害の医療と福祉	27
第10分科会	精神保健福祉	72
第11分科会	口腔保健	21
第12分科会	感染症	71
第13分科会	健康危機管理	57
第14分科会	医療制度・医療政策	42
第15分科会	公衆衛生従事者育成	75
第16分科会	保健所・衛生行政・地域保健	66
第17分科会	公衆栄養	58
第18分科会	健康運動指導	23
第19分科会	食品衛生・薬事衛生	16
第20分科会	産業保健	40
第21分科会	環境保健	21
第22分科会	国際保健	18
合	計	1,450

8 各プログラム参加人数（概数）

第1日目 2011年10月19日（水）

会場	プログラム	演 題 等	参加者概数
A 会場	特別講演 1	わが国の教育をめぐる課題と展望	620名
	学長講演	公共性の地平から見た公衆衛生の将来展望	780名
	特別講演 2	公共性への新たな問いかけ	240名
	メインシンポジウム	公共性の地平からみた公衆衛生学の将来展望	450名
B 会場	教育講演 1	低線量放射線環境下で生活する～安心と安全の狭間	195名
	日本学術会議パブリックヘルス科学分科会・日本公衆衛生学会 合同公開シンポジウム	わが国のパブリックヘルス領域の緊急課題の解決に向けて	130名
C 会場	ランチョンセミナー 1	ワクチンの現状と将来展望	280名
	教育講演 2	脳卒中予防の問題点と解決策	120名
D 会場	ランチョンセミナー 2	子宮頸がん検診と予防ワクチンの最近の話題	270名
	教育講演 3	がんの予防について	100名

第2日目 2011年10月20日（木）

会場	プログラム	演 題 等	参加者概数
A 会場	特別鼎談	被災地の公衆衛生を語る―課題解決へ向けて	388名
	教育講演 6	放射線と発がん：リスク評価・管理と公衆衛生	305名
	シンポジウム 2	自殺対策の効果評価と展望	376名
	シンポジウム 4	地域で介護予防をどう進めるか、ポピュレーション戦略とハイリスク戦略	283名
B 会場	シンポジウム 1	生活習慣病予防―特定健診・特定保健指導の今後を見据えて―	540名
	シンポジウム 3	気になる子どもと家族のサポート―発達障害児支援システムと連携のあり方―	340名
	公衆衛生行政研修フォーラム 2	大災害における保健師による公衆衛生活動	470名
C 会場	教育講演 4	循環器疾患の予防戦略を考える	400名
	地方衛生研究所研修フォーラム	多剤耐性菌の院内感染事例への行政の関与をどうするか？	150名
	ランチョンセミナー 3	超高齢社会の医療戦略～感染症は治療から予防へ～	350名
	教育講演 7	震災後の原子力発電所における産業医活動	130名
	日本公衆衛生学会専門能力認定委員会フォーラム	認定専門家（Public Health Specialist）制度の発展と学会の役割	50名
D 会場	教育講演 5	原爆被爆者の疫学追跡調査	200名
	公衆衛生行政研修フォーラム 1	公衆衛生の人材育成システムづくりを考える	120名
	奨励賞受賞講演		70名

第3日目 2011年10月21日（金）

会場	プログラム	演 題 等	参加者概数
A 会場	公衆衛生行政研修フォーラム 3	ヘルスプロモーション実践方法とその効果	235名
B 会場	日本公衆衛生学会運動指導分科会シンポジウム	シンポジウム 身体から心へ 教育講演 メンタルヘルスと運動	140名
C 会場	教育講演 8	アルコールと健康―アルコール代謝酵素遺伝子型検査を活用した健康増進の可能性―	300名
	公衆衛生行政研修フォーラム 4	グローバルヘルスと日本の公衆衛生	150名
D 会場	教育講演 9	運動器の健康と介護予防	140名
	日本公衆衛生学会モニタリングレポート委員会フォーラム	公衆衛生モニタリング・レポート活動の新たな展開	120名

9 自由集会

10月19日（水）

番号	集 会 名	人数	会 場	参加者数
1	結核の集団発生対策に関する集会	100	ジョイナス 大研修室	116名
2	第4回法医公衆衛生学研究会	25	ジョイナス 研修室1	17名
3	第14回レセプト情報の活用を考える自由集会	30	ジョイナス 研修室2	52名
4	児童生徒を対象とした食事調査による地域栄養評価	50	ジョイナス 研修室3	33名
5	東日本大震災で問われた公衆衛生活動の現状と課題	50	ジョイナス 研修室4	60名
6	保健指導向上委員会～今後の健康支援について語ろう	30	ジョイナス 研修室5	20名
7	共生・共感のパワーを活用するコミュニティ・エンパワメント	30	ジョイナス 研修室7	50名
8	伝えていきたい・受け継いでいきたい保健師活動 ～DVDを観て語り合おう～	80	カレッジプラザ 講堂	33名
9	今、なぜ 沢内村なのか？ 岩手県沢内村（現西和賀町）が実践した地 域包括医療計画の検証とわが国の保健・福祉・医療制度について考える	50	カレッジプラザ 大講義室	36名
10	健康生成論とストレス対処力SOCに関する学習・研究交流集会（第5 回）	40	カレッジプラザ 小会議室2	32名
11	在宅療養支援を考える自由集会 —平常時・災害時における薬剤師と他職種の連携—	20	カレッジプラザ 小会議室4	20名
12	前向き子育てプログラム—その理論と実践	50	秋田県総合保健センター 第1研修室	12名
13	世代間交流によるコミュニティ再生を考える会Ⅱ —世代間交流事業の成功・失敗の分かれ目とは—	35	秋田県総合保健センター 第2研修室	30名
14	住まいと健康フォーラム：入浴中の事故に対する保健所の取り組み	30	秋田県総合保健センター 第3研修室	21名
15	震災・原発問題と公衆衛生活動 ～住民とともに活動する保健師の会～	50	秋田県 薬剤師会会議室	20名
16	知ろう・語ろう・考えよう！ “一歩先行く” 健やか親子21 第11回～健やか親子21における禁煙対策について～	40	秋田県 看護協会会議室	33名
17	第11回公衆衛生に国境はない	40	フォーラムアキタ れんぎょう	20名
18	非正規雇用と労働者の健康	40	フォーラムアキタ さくら	12名
19	全国いきいき公衆衛生の会	100	フォーラムアキタ ふよう	50名

10月20日（木）

番号	集 会 名	人数	会 場	参加者数
1	「健康づくりと運動」自由集会	100	ジョイナス 大研修室	45名
2	地域で役立つ理学療法士・作業療法士とは	30	ジョイナス 研修室1	16名
3	ひとりで耐えていませんか？ 住民からの暴力 ～地域保健スタッフを悩ます住民からのクレーム・暴力のマネジメント～	30	ジョイナス 研修室2	40名
4	全国衛生行政研究会セミナー	50	ジョイナス 研修室3	20名
5	地域の力（ソーシャル・キャピタル）と健康 —最新の知見と実際の保健医療行政への応用—	50	ジョイナス 研修室4	50名
6	訪問看護事業所を対象とした調査研究方法改善策の検討会	30	ジョイナス 研修室5	18名
7	第4回 公衆衛生・公衆栄養分野における管理栄養士の活動を考える会	30	ジョイナス 研修室7	25名
8	公衆衛生ねっと「災害時の公衆衛生」 ～東日本大震災復興支援のネットワークを考える～	200	カレッジプラザ 講堂	60名
9	今一度、とらえ直そう自殺対策	30	カレッジプラザ 小会議室1	25名
10	喫煙対策自由集会	40	カレッジプラザ 小会議室2	25名
11	都道府県で取り組む地域医療を担う看護職の確保支援対策の検討	20	カレッジプラザ 小会議室4	12名
12	口腔保健推進における多職種連携～その先駆的取り組み～	50	秋田県総合保健センター 第1研修室	40名
13	危機管理時の栄養および食生活の支援について ～東日本大震災からみる栄養・食生活支援の在り方について～	40	秋田県総合保健センター 第2研修室	25名
14	若葉保健師からのメッセージ～語る門には、夢来たる～	50	秋田県総合保健センター 第3研修室	15名
15	感染症情報の現状と展望を考える会	50	秋田県 薬剤師会会議室	42名
16	公衆衛生と危機管理 第8回東日本大震災でのインシデントコマンドシステムの活用	40	秋田県 看護協会会議室	11名
17	健康社会学研究会 ～ヘルスプロモーションによるまちづくりの事例集をつくろう	50	秋田県 医師会会議室1	27名
18	第20回多胎児を産み育てる家庭への保健サービスのあり方を考える集会	50	秋田県 医師会会議室2	16名
19	3.11東日本大震災、岩手県大槌町民の健康状況把握の全戸訪問調査から みえてきたこと	40	フォーラムアキタ れんぎょう	87名
20	性感染症・人工妊娠中絶等の性問題と公衆衛生活動 ～住民とともに活動する保健師の会～	40	フォーラムアキタ さくら	20名
21	日本 HIA 研究会	30	アルベ 洋室 B	11名
22	政策に基づいた健康づくりとは？—そもそも政策ってな～に？—	30	アルベ 洋室 C-1	20名
23	がん検診受診向上：がん検診受診向上に果たす医師の役割	30	アルベ 洋室 C-2	40名

10 ブース

展示

〈紹介ブース（一般展示）〉

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------|
| 1 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 | 10 国立保健医療科学院 |
| 2 特定非営利活動法人地域がん登録全国協議会 | 11 東京医療保健大学 |
| 3 一般社団法人全国保健師教育機関協議会 | 12 公益財団法人結核予防会結核研究所 |
| 4 公益社団法人地域医療振興協会
ヘルスプロモーション研究センター | 13 財団法人健康・体力づくり事業財団 |
| 5 有効性評価に基づくがん検診ガイドライン | 14 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座 |
| 6 e-CARE「親育ち・子育ち」プロジェクト | 15 ㈱プリメドジャパン |
| 7 日本疫学会 | 16 大分県立看護科学大学健康増進プロジェクト |
| 8 前向き子育てプログラム | 17 特定非営利活動法人日本介助犬アカデミー |
| 9 東京大学大学院医学系研究科
健康科学・看護専攻地域看護学分野 | 18 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 |
| | 19 NPO 法人子宮頸がんを考える市民の会 |

〈紹介ブース（企画展示）〉

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 東京都職員共済組合 | 2 北海道滝川・深川保健所 |
|-------------|---------------|

〈機器展示〉

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1 日本ビーシージー製造㈱ | 9 ㈱両備システムズ |
| 2 ㈱いわさき | 10 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス㈱ |
| 3 ㈱スズケン | 11 (有)イボナコロジー |
| 4 ㈱健康日本総合研究所 | 12 ㈱メルシー |
| 5 ジョンソン・エンド・ジョンソン㈱ | 13 ㈱ラシュラン |
| 6 花王㈱ヒューマンヘルスケア研究センター | 14 ㈱ヤマト |
| 7 味の素㈱ | 15 ㈱社会保険出版社 |
| 8 三洋電機㈱ | 16 ㈱日本家族計画協会 |

〈書籍展示〉

- | | |
|-----------|------------|
| 1 ㈱東京法規出版 | 2 ㈱ニホン・ミック |
|-----------|------------|

飲料提供

- | | |
|------------|--------|
| 1 ダイドードリンコ | 2 明治乳業 |
|------------|--------|

11 付随行事

行 事 名	日 程		会 場
	月 日	時 間	
【関連行事】			
日本公衆衛生学会理事会	10月18日(火)	10:00~12:00	秋田キャッスルホテル 千秋の間
日本公衆衛生学会評議員会	10月18日(火)	13:00~14:30	秋田キャッスルホテル 矢留の間
日本公衆衛生雑誌拡大編集委員会	10月19日(水)	12:20~13:20	秋田県民会館
自由集会	10月19日(水) 10月20日(木)	18:30~20:30 18:30~20:30	秋田県民会館研修室, 秋田県総合保健センター, カレッジプラザ, 他
【付随行事】			
衛生学公衆衛生学教育協議会	10月18日(火)	15:00~18:00	秋田キャッスルホテル 矢留の間
全国衛生部長会議			
世話人会	10月18日(火)	11:00~13:00	メトロポリタンホテル秋田
総会	10月18日(火)	13:00~17:00	メトロポリタンホテル秋田
意見交換会	10月18日(火)	17:15~19:15	メトロポリタンホテル秋田
全国保健所長会政令市部会総会	10月17日(月)	10:00~12:00	秋田ビューホテル
全国政令市衛生部局長会総会			
総会	10月17日(月)	14:00~16:00	秋田ビューホテル
会長表彰式	10月17日(月)	16:30~17:15	秋田ビューホテル
情報交換会	10月17日(月)	18:00~20:00	秋田ビューホテル
全国保健所長会第68回総会			
第68回総会	10月18日(火)	10:00~12:30	秋田キャッスルホテル 放光の間
研究事業報告	10月18日(火)	13:25~14:25	秋田キャッスルホテル 放光の間
会員協議	10月18日(火)	14:30~17:00	秋田キャッスルホテル 放光の間
意見交換会	10月18日(火)	17:30~19:30	秋田キャッスルホテル 放光の間
地方衛生研究所全国協議会			
第62回総会	10月18日(火)	13:30~16:30	パーティーギャラリーイヤタカ
意見交換会	10月18日(火)	17:15~19:15	パーティーギャラリーイヤタカ
全国精神保健福祉センター長会 同研究協議会			
理事会	10月18日(火)	11:00~12:00	秋田県庁第二庁舎
センター長会議	10月18日(火)	13:00~14:45	秋田県庁第二庁舎
研究協議会	10月18日(火)	14:55~17:00	秋田県庁第二庁舎
意見交換会	10月18日(火)	17:30~19:00	ルポールみずほ
研究協議会	10月19日(水)	9:10~16:15	秋田県庁第二庁舎
全国保健統計協議会			
役員会	10月18日(火)	11:00~12:00	パーティーギャラリーイヤタカ
総会	10月18日(火)	13:00~16:30	パーティーギャラリーイヤタカ
一般社団法人全国保健師教育機関協議会			
理事会	10月17日(月)	15:00~18:00	メトロポリタンホテル秋田
総会	10月18日(火)	13:30~17:30	メトロポリタンホテル秋田
意見交換会	10月18日(火)	18:00~20:00	メトロポリタンホテル秋田

12 第70回日本公衆衛生学会総会収支決算

【収入】

(単位：円)

科 目	決算額	内 訳
1 負担金収入	12,423,000	
都道府県市分担金	4,923,000	47都道府県, 19政令指定都市 (定額)
公衆衛生学会負担金	3,000,000	日本公衆衛生学会負担金 (定額)
開催地負担金	4,500,000	秋田県3,000,000円, 秋田市1,500,000円
2 演題申込	4,479,000	1,493件 (@3,000円)
3 抄録集売上収入	23,743,000	
事前登録	15,502,500	2,067件 (@7,500円)
当日登録	7,536,000	942件 (@8,000円)
抄録集送料	704,500	1,409件 (@500円)
4 諸収入	10,308,057	
共催収入	3,600,000	ランチョンセミナー 3件
寄付金収入	1,600,000	14件
広告収入	750,000	10件
ブース展示等収入	4,077,500	
企業展示	3,552,500	18件
紹介ブース	525,000	19件
その他	280,557	書籍販売・物販手数料等
合 計	50,953,057	

【支出】

(単位：円)

科 目	決算額	内 訳
1 事前準備費	15,369,490	
(1) 事務局費	4,745,600	事務局人件費, 連絡調整, 消耗品等
(2) 印刷・広報費	8,977,700	抄録集, ポスター等の印刷
(3) 通信運搬費	1,646,190	抄録集, ポスター等の送料
2 当日運営費	22,161,600	
(1) 会場費	5,720,000	会場借上料
(2) 会場備品・機材設営費	6,333,700	施設・機材等
(3) 展示関連費・看板制作費	6,419,900	パネル, サインボード, 懸垂幕, 横断幕, 設営等
(4) 当日人件費	3,188,000	当日運営に係る人件費
3 招請費	1,357,927	講演者旅費・講演者謝金等
4 記録集関係	5,286,500	報告書・報告DVD作成費
5 事後処理業務費	2,387,796	記録集等送料及び事務処理費
6 営業管理費	4,389,744	学会総会の準備および開催に関わる業務委託手数料等
合 計	50,953,057	